

2018年 湘南藤沢学会 「研究助成基金」 成果報告書

15th International Conference on Music Perception and Cognition (ICMPC15) における
「Receiver Operating Characteristic Analysis to Classify Treatment-Resistant
Schizophrenia (TRS) from non-TRS Using the Harvard Beat Assessment Test」の研究発表

環境情報学部 3年 越智涼

1. 活動日程・会場

日程：2018年7月23日~27日

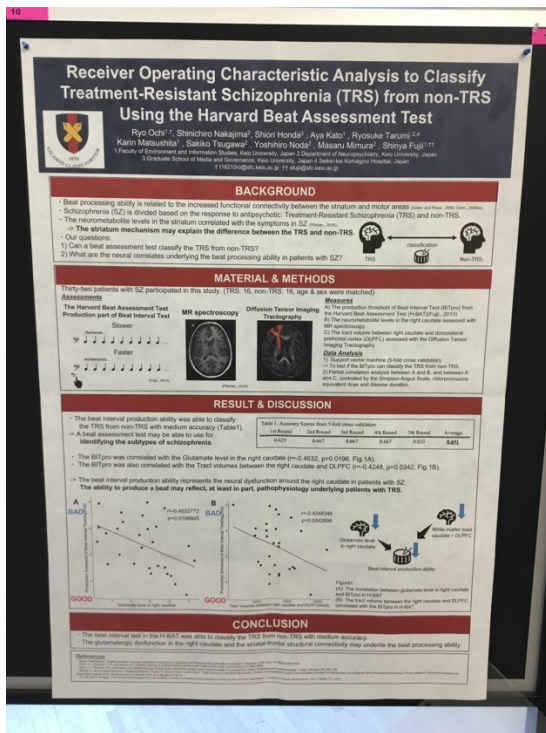
会場：コンコルディア大学（カナダ・ケベック州）

2. 活動の目的

本活動はカナダをはじめとした4地域で開催された15th International Conference on Music Perception and Cognition (ICMPC15)にて「Receiver Operating Characteristic Analysis to Classify Treatment-Resistant Schizophrenia (TRS) from non-TRS Using the Harvard Beat Assessment Test」という内容でのポスター発表を行うことを目的としていた。第15回を記念する本学会は10th triennial conference of the European Society for the Cognitive Sciences of Music (ESCOM10)と共同で催され、世界中の音楽を研究テーマにする研究者がカナダ、オーストリア、アルゼンチン、オーストラリアの4地域に集まり、インターネットにより他会場の発表・議論に参加することができる。本学会でのポスター発表は、世界中の音楽研究者から研究の改善点についてのフィードバックを受けることができる貴重な機会であり、本研究の発展のためには不可欠な要素の1つであると考えた。

3. 活動の成果

「Receiver Operating Characteristic Analysis to Classify Treatment-Resistant Schizophrenia (TRS) from non-TRS Using the Harvard Beat Assessment Test」のポスター発表では、リズム間隔生成能力により統合失調症患者への投薬の効果を中程度判別できることに加えその能力が前頭葉-大脳基底核間の白質結合性に関連にあることを報告した。多くの方が発表を聞きに来てくださり、神経科学に詳しい方からの技術的なフィードバックや相関の方向性のような本研究が見逃してはいけない点への指摘など、多くの議論を行うことができ、本研究にとってとても有意義なものとなった。



実際に発表に用いたポスター

4. 今後の展望

今後は、頂いたフィードバックや指摘を反映した解析を行うと同時に、健常者データの収集、論文化に向けた執筆作業を行い、本研究をさらに発展させていく予定だ。

5. 謝辞

本学会参加に際し、資金の援助をしてくださった湘南藤沢学会に深く御礼申し上げます。